

20180720 蔵前ゼミ（通算 第 71 回）



講演中の山口さん



会場風景（すずかけ台，J221 講義室）



会場風景



交流会でまずは乾杯（すずかけホール 3F ラウンジ）



交流会を盛り上げてくれた Microjet の社員の皆さん(中央、右端)と学生；学生が手にしている本は今回の講師の著作「インクジェット時代がきた」で、希望者に配布された。



交流会で、「インクジェットで、衣服にセンサーをプリントすることもできる」と力説する講師の山口さん。



蔵前ゼミ（第 1Q）
終了挨拶
竹山さん

交流会
開会挨拶
橋爪さん

交流会
中締め挨拶
錦織さん

竹山さん（1970 機械，神奈川県支部事務局長）：工作機械メーカー一筋で、運よく 54 歳で役員になったので役職定年は経験しなかった。同級生の一人は秋田大の医学部に入り直し医者をしている。様々なキャリアを念頭に学生の皆さんに先輩としてアドバイスが出来るかも知れないので、交流会にも参加して欲しい。◆橋爪さん（1971 化学，73MS；第 43 回講師）：著書を恵んでくださった山口講師に感謝。米国では優秀な人ほど起業をする傾向にある。日本では未だエンジェル支援が少ないというハンディはあるが、起業も視野に入れて、山口さんのように真剣にキャリアデザインをしたいものだ。◆錦織さん（1962 窯業，元支部長；第 6 回講師）：10 年前に三島総合理工学研究科長と広瀬生命理工学研究科長と相談して始めた本ゼミがこうに定着したのは感慨深い。いい仕事をするには、上位のポジションにつく必要があるが、そのためには人脈と情報の取り方が重要になる。本ゼミと交流会を活用して欲しい。